

浜岡原子力発電所の外部電源の信頼性確保に係る 開閉所等の耐震性評価の実施工程変更について

2012年12月27日

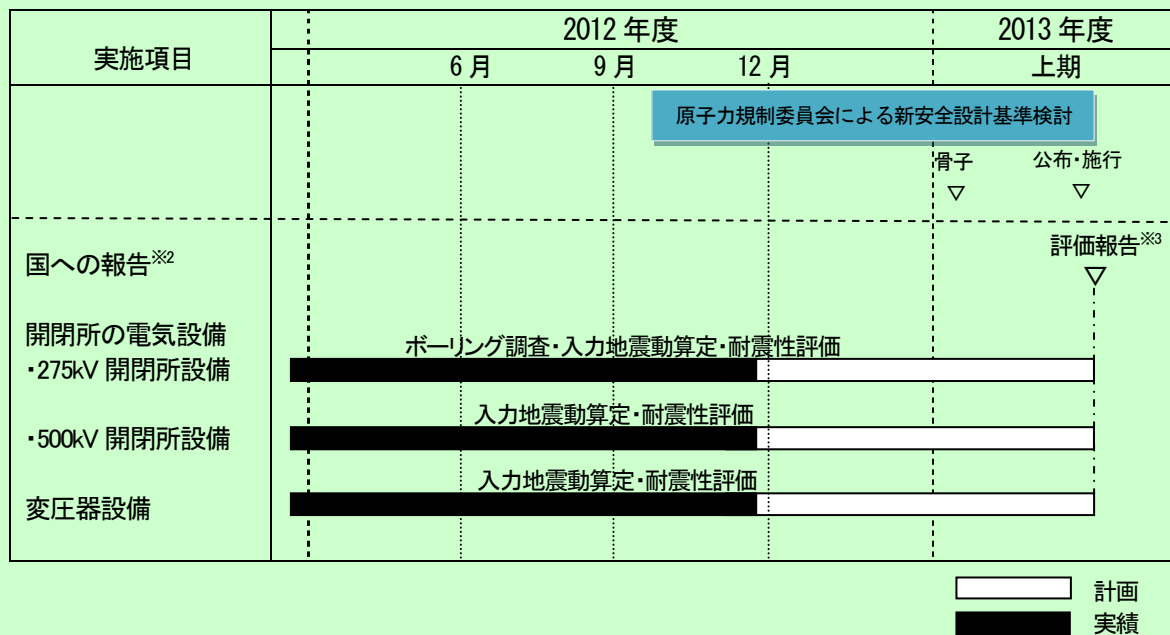
当社は、平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえて出された経済産業省原子力安全・保安院(当時)からの指示^{※1}に基づき、2012年2月17日に「浜岡原子力発電所の外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の耐震性評価実施計画書」を提出し、その実施状況について定期的に国へ報告してきました。

(2012年2月17日、2012年6月29日、2012年9月28日お知らせ済み)

当初予定では、500kV開閉所設備および変圧器設備の入力地震動の算定・耐震性評価の結果について、2012年12月に評価報告をおこなうこととしていましたが、原子力規制委員会における新安全設計基準の検討の動向を踏まえ、評価報告の時期を2013年度上期に延期することとしましたのでお知らせします。

なお、2013年3月に予定していた275kV開閉所設備の評価報告についても、評価報告の時期を2013年度上期に延期します。

実施工程



※1 経済産業省原子力安全・保安院(当時)の指示:2012年1月19日に経済産業省原子力安全・保安院により発出された「原子力発電所等の外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の地震対策について(追加指示)」(平成24・01・17原院第1号)

※2 各設備の耐震性評価の結果、対策が必要となった場合には、対策完了後に追加で国に報告をおこないます。

※3 原子力規制委員会による新安全設計基準の検討の動向を踏まえ、評価報告の予定です。

以上